

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年12月29日

事業所名：co・co・ai武庫川 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動部屋を2つ、訓練部屋を確保している	はい4名 分からない2名 学習部屋がありよいと思います	小低、高学年を分けて活動。学習部屋を確保する
	2 職員の適切な配置	非常勤パートが多く、男子指導員が必要である	はい4名 分からない2名 職員につきばらつきがあると感じます	保育士、教職経験のある職員が常に複数必要である
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動するスペースと学習スペースを分けている	はい3名 分からない3名 新しい施設は分からないので、前のところで答えています	色々な場所等で、絵カードの視覚支援が必要と考えている
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	大きな窓があり、広い活動スペースはある	はい3名 分からない3名	有意義な活動、学習、個別支援ができる環境を整備したい
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	しっかりした体制を構築できていない	/	定期的に事業所全職員でできればと考えている
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所や本社の職員による事例検討会を実施	/	外部の機関等の連携の重要性を感じている
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	利用者、保護者及び学校への対応について共通理解を図っている	/	これからも定期的に定例会を開いて情報交換等をしっかり行いたい
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	主に管理者と児発管で個々の実態や支援内容について話し合って作成を行っている	/	パートさんも含め全職員で検討する時間確保したい
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動と集団活動の計画立案しながら支援しているが、上手く機能していない	/	利用者の年齢幅が大きいため、よく検討して集団構成を考えたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目、支援内容は明記している	はい6名	支援内容、方法の反省の時間を十分確保したい
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	生活年齢、発達年齢に幅があり、個々に充実した支援が行えていない	はい6名 はじめのころは嫌がって辞めたいと言っていたが、今は毎日でも行きたいようです。すごく楽しいと言っています。	記録を取って改善点を見つけながら支援したい
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	非常勤職員さんが多く、全体での立案はあまりできていない	/	時間を確保して全職員によるプログラム立案をできれば良いと考えている
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日、長期休暇等における支援内容、計画は立てている		休日、長期休暇等は郊外行事等を入れたいと思っている
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月プログラムを立てて、内容の偏りがないようにしている		指導員の得意を生かしたスポーツ、音楽、創作活動をしていきたい
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	パートさんが多く、連絡ノートによる確認をしている		時間を取って日々の支援内容、役割の話し合いの時間をとりたい
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	連絡ノートによる確認をしている	全職員による振り返りの時間を取りたい	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	週1回定例会で支援の検証及び改善を図っている	日々の支援内容の記録をつける必要	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング実施、支援計画の見直しは行っている		全職員で検討する時間が必要
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	市内事業所の担当者会議は出席	1. 市内事業所の担当者会議は出席
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児発支援事業者、学校から支援内容を聞いている	随時、支援内容等の情報交換を継続したい
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	未実施	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員には参加よびかけている	積極的に参加したい
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	未実施	はい2名 どちらとも言えない1名 いいえ1名 分からない2名 コロナ禍で仕方がないと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	未実施		
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明	はい6名	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時及びモニタリングで説明	はい5名 分からない1名	定期的に説明したい
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者学習会は開催した	はい3名 いいえ1名 分からない2名	計画していきたい
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やメール等で共通理解に努めている	はい6名	日々の状況については細かく伝えていきたい
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があったときは即時対応している	はい4名 いいえ1名 分からない1名	相談があればしっかりと支援していきたい
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	参加者は少なかったが本社で学習会を1回実施した	はい2名 どちらとも言えない2名 いいえ1名 まだ日が浅いのでどちらとも言えないです。	定期的に開催したい
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があれば迅速に対応している	はい3名 どちらとも言えない1名 分からない2名 言いづらい場面があります。	何でも相談しやすい環境づくりに努めたい
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	事業所通信やメールでタイムリーに情報を伝えている	はい6名 指導員によりばらつきがあります。	継続的に活動の様子を発信していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	通信やプログラムを配布して伝えている	はい6名 あまり情報を見れていません。	これからも情報提供していきたい
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	利用にあたり個人情報に関するアンケートを実施(写真及び氏名等)	はい6名	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応、防災マニュアル、感染マニュアルは作成して、事務所に掲示している	はい5名 分からない1名 一番最初に聞いています。	定期的に職員全員に啓発していきたい
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震非難訓練は実施した	はい5名 いいえ1名	定期的に非常災害の訓練を行いたいと思う
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	普段、虐待を防止に関する共通理解を図っている		虐待防止に対する研修を行いたい
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象利用者がいない		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	職員全員に共通理解のもと、おやつやクッキングの行事等行っている		アレルギーのある利用者については、複数の指導員で確認するようにしたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は共有できるようにノートに記録するようにしている		ヒヤリハットに関しては起こらないような対策をその都度考えて生かしたい